

土砂災害危険箇所緊急点検に関する研修を開催しました 〈TEC-FORCE研修〉

多治見砂防国道事務所

1. 開催日時
平成22年11月19日(金) 10時00分～16時30分
2. 開催場所
多治見砂防国道事務所及び現地(中津川市内の2箇所)

3. 目的

近年、台風や局所的な集中豪雨により全国各地で土砂災害等が多発し、一部では甚大な被害が発生しています。

最近では、9月上旬の静岡県駿東郡小山町と10月下旬の鹿児島県奄美地方を襲った豪雨災害において、国土交通省は緊急災害対策派遣隊(TEC-FORCE)を現地に速やかに派遣し、被災状況の調査や復旧方針等の技術的な支援・助言等を実施しました。

今回の研修では、何時発生するかもしれない自然災害に備え、土砂災害危険箇所の点検・調査の方法等について座学と現地での模擬点検による研修を実施し、職員の技術力向上を図ると共に、危機管理意識の向上を目的に実施するものです。

○所内研修(座学)



所長挨拶



講師の皆さん



- 《研修概要》
1. 所内研修(座学)
 - ・台風9号静岡県小山町TEC-FORCE活動報告
 - ・TEC-FORCEの活動について
 - ・土砂災害危険箇所緊急点検の実際
 2. 現地研修(実地)
 - ・土石流危険渓流(中津川市内の2箇所)
 3. 点検結果取り纏め
 4. 班毎に点検結果を報告
 5. 講評



講義を聞く参加者



約60名の職員が参加しての研修でした

○現地研修(実地)



土石流危険渓流カルテ

4名/班の10班編制でカルテと現地を見ながら班毎に点検を実施



班毎に点検結果取り纏め



渓流の点検表

班毎に点検結果を報告

